

## 施設関係者評価について

### <地域の方・保護者の方からの評価として>

\*子どもの気持ちに寄り添い、年齢に応じた指導を丁寧にご提供されていると感じている保護者の方の思いがA評価・B評価の結果に繋がっている。

\*子どもは、朝ご飯を食べて登園しているが、昨年は84%→91%になり、保護者自身も日々意識しながら朝ごはんについての習慣が高まっている。

\*登校前の朝食が1日の生活の糧になっております。引き続きご指導よろしくお願ひします。

\*周りの人が楽しくなれば自分も楽しくなれることを体験させてほしいです。（地域の方）

\*園の環境づくりや子ども達への対応はとてもよくしていただき、評価シートもA判定だったことからほとんどの家庭が同じように感じているのだと思い、うれしく思った。

\*我が子もそうですが、自発的に挨拶ができません。毎回挨拶を促しているのですが、改善していません。小学校にもあるのですが、挨拶週間みたいなものを作って学年関係なく挨拶をしていく働きかけみたいなものがあたらいいなと思っています。

\*どの先生も園児にやさしく声をかけし、楽しそうに接している姿をよく見かける。

\*毎日元気に通えることは当たり前ではなく、こども園を嫌がることなく通えることに感謝しています。

\*全体的にアンケート評価が高く、安心して子どもが登園できているなど感じている。

\*保護者の視点からすると園の取り組み方針には、皆さんおおむね満足されているかなと思います。

\*園に全面的に頼るばかりではなく、保護者はいち保護者として在園するお子さんたちに接することができるのもっと良いと感じます。（同じクラスのお子さんには、名前を呼んで進んで挨拶する等）

### <来年度の重点取り組み>

\*保護者の方が、安心・安全にお子様をあずけることのできる園に引き続きしていく。

\*保育の質を高めていけるよう園内・外の研修や公開保育をおこなっていく。

\*財田小の教職員・地域の方にも園を見ていただき、小学校へ子ども達が安心して通い、過ごしていける架け橋づくりを行っていく。

\*令和7年度から架け橋カリキュラムをこども園側と小学校側のものをすり合わせ、行っていく。

カリキュラムを基に行う中で、改善点を踏まえながら令和8年度からは、本格的な架け橋カリキュラムをつくっていく。そのカリキュラムの基本的なところは、近隣の小学校もかわらないのでそこを踏まえながら保育・教育へ繋げていく。

\*地域の方、保護者の方からの評価・感想を令和7年度にもいかしていく。